

商学部40周年によせて

——商学部情報処理教育——

商学部教授 小 島 崇 弘

平成17年10月15日に開催される商学部40周年記念式典を前に「商学部情報処理教育」について一言感想と思い出を述べさせていただきます。

私が専修大学商学部専任講師として就任したのは昭和54年（1979）4月でしたが完成したばかりの新1号館（現在の1号館）に電子計算機室が移り、昭和52年（1977）導入のIBM 370/138が設置されておりました。当時の文科系大学としては大変画期的なことでしたので感激したことを覚えています。何故なら「専修大学の情報処理教育」は昭和47年4月経営学部情報管理学科（現在のネットワーク情報学部の前身）が設立されましたが、コンピュータとしては現在ではほとんど知られていないNCR社のCENTURY 200が昭和46年（1976）に導入され、既に7年以上経過していたからです。全学的組織としての「電子計算機室」は電子計算機運営委員会と下部組織の学術利用委員会が組織され私は商学部代表で学術利用委員会委員に指名されました。

昭和55年（1980）9月30日の発起人会で専修大学「情報科学研究会」の設立が決議され会員47名が登録されたと「情報科学研究会だより」第1号に記載されています。

さらに昭和57年（1982）にはIBM社のコンピュータから国産機のHITAC M-180へ変更され、昭和62年（1987）には上位機のM-280Dに変わりました。

ところで「商学部情報処理教育」はこの様な環境の中で商学部カリキュ

ラムの大改正により昭和59年（1984）4月から、コンピュータ基礎演習（CA 2年）、コンピュータ言語論（CA 2年）、会計情報システム論（CA 3年）、統計データ処理論（CA 3年）、情報処理システム論（CA 4年）の5科目からスタートしました。

中でも実際にコンピュータを利用して授業が行われる「コンピュータ基礎演習（CA 2年）」、「コンピュータ言語論（CA 2年）」は他の授業との関係から、昭和59年度前期授業が修了した翌日の夏休み初日にあたる昭和59年7月19日（木）から27日（金）まで8日間（日曜（22日）を除く）、朝9時（1限）から夕方4時10分（4限）まで連続して電子計算機室で行われました。

教員スタッフは私と入職が同期の中村友保先生（現ネットワーク情報学部）、江原淳先生（現ネットワーク情報学部）と佐々木重人先生の4名でした。

向ヶ丘遊園の駅から学生達と競争である坂（通称定年坂）を登って行ったことが今では嘘のように思えます。

「コンピュータ基礎演習（CA 2年）」はメインフレームが当時 TSS で稼働していたため、実際にコンピュータを操作する基本的知識と技術を習得させる授業であり、「コンピュータ言語論（CA 2年）」は当時広く使用されていたプログラム言語である COBOL（事務処理言語）と FORTRAN（数値計算言語）の教育が行われました。その後パソコン等の普及により COBOL は一時不要と言われましたが結局現在でも健在で、大量事務データの処理用言語として用いられています。

専修大学に設置されているコンピュータの端末を商学部の授業として独占的に使用する関係し行われた夏休み集中授業も、数年後には正規授業に組み込まれ、会計情報システム論（CA 3年）、統計データ処理論（CA 3年）、情報処理システム論（CA 4年）等も一部名称が変更になった科目はありますが現在に引き継がれています。

その後文部省（現文部科学省）からの情報処理教育関連の補助金が大幅に増額され、情報機器は生田キャンパスのみならず神田校舎にも設置されました。

さらにパソコンの普及によりコンピュータ言語教育から Word, Excel 等の利用技術教育に変わり、商学部では1年次入学者全員に情報処理基礎教育が行われ、それを基に専門科目でのコンピュータを利用した授業科目が多数開設されています。

特に平成10年に生田9号館が完成し4階に情報科学センターが設置されてからは、生田1号館と9号館に2カ所に端末室と教室が設置され約1100台あまりのコンピュータがネットワークに接続され、多くの学生に自由に利用されています。さらに平成16年（2004）設備増強がなされ生田・神田を合わせて約1500台がネットワークで結ばれています。

商学部設立40周年に当たる平成17年（2005）度商学部開設されている情報処理関連の授業は多数開講され、教員・学生や法人事務・教員間も電子メールが当然で「教授会開催通知」さえも e-メールで送られて来ます。また秋には生田・神田キャンパスに電子掲示板が設置され、平成19年（2007）完成予定の生田10号館には学生諸君の個人情報をも本人確認のうえ提供するポータルシステムも稼働する予定です。